

5 野菜の栽培

だいこん (アブラナ科)

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作 型	7～8月どり： 【春まき】 × ———— は種 ———— × ———— 収穫：7月上旬～8月下旬																				
	9～10月どり： 【夏～晩夏まき】 × ———— は種 ———— × ———— 収穫：8月下旬～10月中旬																				
※春まきでは「とう立ち」防止のためベタがけ資材の活用が有効です。																					

冷涼な気候を好むアブラナ科の代表的な野菜です。中標津町では冷涼な気候条件を活かし、最も多く作付けされている野菜です。栽培期間は55～70日と短く、生育肥大には20℃前後の冷涼な気候に適します。

表1 主な品種

品種名	抽台の早晩	肥大の早晩	根長	曲根	軟腐病	す入り	赤しん症
貴宮	やや遅	やや遅	やや短	少	やや少	並	並
晩抽喜太一	やや遅	並	並	並	並	並	並
晩抽夏澄	やや遅	並	やや短	少	やや少	並	やや少
夢誉	やや遅	並	並	やや少	やや少	並	並
福味2号	やや早	並	やや長	やや少	やや多	並	並
夏つかさ	やや早	やや早	やや長	やや少	やや少	並	並
かつみ	やや早	並	やや長	やや少	並	並	並
耐病総太り	早	並	やや長	やや多	多	遅	やや多

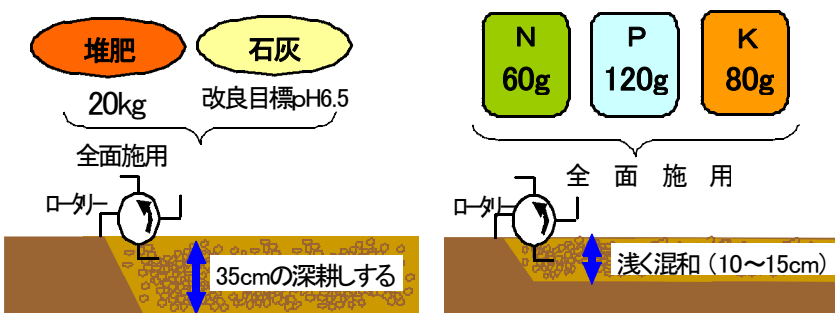
1 栽培管理

①畑の準備

- 堆肥は完熟したものを入れます。未熟なものは前年秋に施用しておきます。耕起深は35cm以上を目標とし、砕土・整地を十分に行い岐根・曲がり・寸詰まりにならないようにします。
- 窒素の多肥は軟弱徒長や過肥大、過繁茂等品質の低下を招くので適正施肥に努めます。また、ホウ素欠乏による赤しん症がでやすいのでホウ素入り肥料を施用します。

表2 品種選定の目安

品種名	は種時期			
	5～6月	7月上中旬	7月中下旬	8月
晩抽喜太一		晩抽喜太一	かつみ	かつみ
貴宮		晩抽夏澄	福味2号	福味2号
		夏つかさ	夏つかさ	耐病総太り
		夢誉	早太り聖護院	耐病西町理想



畑の準備(10㎡当たり)

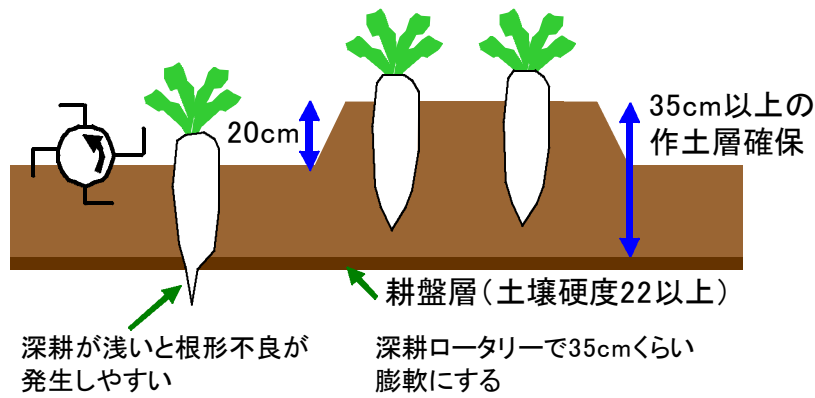


間引きの時期 (は種 2週間後)

②は種

- 株当たり2～3粒まきます。
- 本葉2～3葉期までに1本立ちにします。子葉がハート型に近く、両方揃ったものを残します。
- 栽植密度は畦幅60～70cm×株間23～27cmとします。
- 高畦栽培を行うと作土層の拡大につながり、品質の良いだいこんが収穫できます。

※間引き後は株元に土を寄せて直根を安定させる



深耕が浅いと根形不良が
発生しやすい

深耕ロータリーで35cmくらい
膨軟にする

栽培上の注意点

③管理（生理障害について）

外部障害	原因	対策
抽台 (とう立ち)	生育初期(種子吸水後～子葉展開期)に12℃以下の低温に遭遇すると花芽分化し、その後の高温長日で花茎が伸長します。	1 品種の選択 2 保温資材(べたがけ資材、マルチ等)の使用
曲根	多肥・高温等による茎葉の過繁茂、間引き遅れ、欠株、レキ、堅い土層の存在	1 品種の選択 2 適切な種・間引き作業 3 減肥 4 障害物の除去
岐根	未熟堆肥・高濃度肥料・レキ・堅い土層の存在(種子の直下) 虫害、センチュウ害	1 完熟堆肥の施用 2 全層施肥・十分な混和 3 深耕、高畦 4 害虫の防除
裂根	乾燥後の多湿による急激な肥大 栄養のアンバランス(N過多、K欠乏 ホウ素欠乏等)	1 品種の選択 2 透排水性の改善 3 高畦・マルチ栽培 4 適正な肥培管理

内部障害	原因	対策
す入り	生育後半の高温・乾燥 急激な肥大、収穫遅れ	1 品種の選択 2 適期収穫 3 マルチ栽培
赤心症 黒心症	生育後半の高温・乾燥 高pH等によるホウ素欠乏	1 品種の選択 2 マルチ栽培 3 ホウ素の施用
空洞症	生育初期の高温・乾燥 後半の急激な肥大	1 品種の選択 2 マルチ栽培 3 土壌水分の確保

2 収穫の目安

- ・収穫期は、は種後の生育日数を目安にします。
- ・収穫期に入ると急激に肥大し、空洞症が発生しますので速やかに収穫します。また、高温時の収穫は避け、早朝に抜き取るようにします。

【マルチ栽培】

- ①マルチは土壤水分のあるうちに設置し、水分の保持をはかります。
- ②地温の上昇には透明マルチが良く、地温の上昇と雑草の抑制にはグリーンマルチが有効です。また、初夏・夏まきの高温期栽培時は、地温の抑制、水分確保の点から銀ネズや白、白黒マルチを使用します。
- ③マルチと土壤表面との間に隙間があると、高温障害、風害を受けやすいので土をのせておさえます。
- ④マルチは10～20cmの盛り土がないと効果が劣ります。



べたがけ栽培(右側)
低温時のとう立ち対策



マルチ栽培(は種後29日目)